

エネルギー消費性能計算プログラム  
CSV 出力仕様

## 目次

1	はじめに.....	1
2	基本構造.....	1
3	空調.....	1
3.1	概要セクション .....	2
3.2	一次エネルギーセクション .....	2
3.3	二次エネルギーセクション .....	3
3.4	空調負荷セクション .....	4
3.5	室負荷セクション .....	5
3.6	空調機群セクション .....	5
3.7	二次ポンプ群セクション .....	6
3.8	熱源群セクション .....	7
3.9	非主要室セクション .....	10
3.10	警告セクション .....	11
4	換気.....	11
4.1	概要セクション .....	11
4.2	詳細セクション .....	12
4.3	非主要室セクション .....	13
4.4	警告セクション .....	13
5	照明.....	14
5.1	概要セクション .....	14
5.2	詳細セクション .....	14
5.3	非主要室セクション .....	15
5.4	警告セクション .....	16
6	給湯.....	16
6.1	概要セクション .....	16
6.2	室詳細セクション .....	17
6.3	機器詳細セクション .....	17
6.4	非主要室セクション .....	18
6.5	警告セクション .....	18
7	昇降機.....	19
7.1	概要セクション .....	19
7.2	詳細セクション .....	19
7.3	警告セクション .....	20
8	効率化設備.....	20

8.1 概要セクション .....	21
8.2 太陽光発電システムセクション .....	21
8.3 コージェネレーションシステムセクション .....	21
8.4 警告セクション .....	22

## 1 はじめに

この仕様書は、一次エネルギー消費量算定プログラム(建築物用)で出力される計算結果 CSV の出力形式について記述したものである。各章では、設備ごとの CSV の出力形式を記述する。

## 2 基本構造

CSV は設備ごとにあり、それぞれいくつかのセクションから構成される。セクションを構成する要素は以下の通りである。

- タイトル行
- ヘッダ行
- データ行

各セクションの一行目は、セクション名が書かれる。この行には、セクション名以外の情報は含まれない。

二行目以降は、ヘッダ行である。ヘッダ行には各列の列名が書かれる。ヘッダ行は、1行もしくは2行である。

ヘッダ行の次の行からは、データ行である。データ行は計算条件や計算結果の数値および文字列が書かれる。データ行の1列目はヘッダとなる場合もある。

セクションとセクションの間には、空の行が1行入る。

## 3 空調

空調の CSV は、表 1 のセクションから構成される。

表 1 空調のセクション

セクション名	内容
概要	空調設備全体の設計一次エネルギー消費量、基準一次エネルギー消費量、BEI 等
一次エネルギー	機器ごと、燃料種別ごとの一次エネルギー消費量
二次エネルギー	機器ごと、燃料種別ごとの二次エネルギー消費量
空調負荷	負荷、全負荷相当運転時間
室負荷	室(空調ゾーン)ごとの負荷
空調機群	空調機群の計算結果
二次ポンプ群	二次ポンプ群の計算結果
熱源群	熱源群の計算結果
非主要室	非主要室の計算結果
警告	計算実行時の警告

### 3.1 概要セクション

概要セクションは、空調設備全体の計算結果であり、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、データ行 1 行から構成される。データ行の列の構成を表 2 に示す。

表 2 概要セクション データ行の列構成

列	内容
1	設計一次エネルギー消費量 [MJ/年]
2	空調対象面積あたりの設計一次エネルギー消費量 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
3	基準一次エネルギー消費量 [MJ/年]
4	空調対象面積あたりの基準一次エネルギー消費量 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
5	空調対象面積 [m <sup>2</sup> ]
6	BEI/AC

### 3.2 一次エネルギーセクション

一次エネルギーセクションは、燃料種別ごとおよび機器ごとの一次エネルギー消費量を表している。一次エネルギーセクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、データ行 10 行から構成される。データ行の列の構成を表 3 に示す。

表 3 一次エネルギーセクション データ行の列構成

列	内容
1	ヘッダ列
2	一次エネルギー消費量(電力) [MJ/年]
3	一次エネルギー消費量(都市ガス) [MJ/年]
4	一次エネルギー消費量(重油) [MJ/年]
5	一次エネルギー消費量(灯油) [MJ/年]
6	一次エネルギー消費量(液化石油ガス) [MJ/年]
7	一次エネルギー消費量(他人から供給された熱 蒸気) [MJ/年]
8	一次エネルギー消費量(他人から供給された熱 温水) [MJ/年]
9	一次エネルギー消費量(他人から供給された熱 冷水) [MJ/年]
10	合計一次エネルギー消費量 [MJ/年]

各データ行は、機器ごとの一次エネルギー消費量を表している。行と機器の対応を表 4 に示す。

表 4 一次エネルギーセクション データ行と対応する機器

行	対応する機器
1	全熱交換器
2	空調ファン
3	二次ポンプ
4	熱源主機
5	熱源補機
6	一次ポンプ
7	冷却塔ファン
8	冷却水ポンプ
9	計
10	計(空調対象面積あたり)

### 3.3 二次エネルギーセクション

二次エネルギーセクションは、燃料種別ごとおよび機器ごとの二次エネルギー消費量を表している。二次エネルギーセクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、データ行 9 行から構成される。データ行の列の構成を表 5 に示す。

表 5 二次エネルギーセクション データ行の列構成

列	内容
1	ヘッダ列
2	二次エネルギー消費量(電力) [MWh]
3	二次エネルギー消費量(都市ガス) [m <sup>3</sup> ]
4	二次エネルギー消費量(重油) [L]
5	二次エネルギー消費量(灯油) [L]
6	二次エネルギー消費量(液化石油ガス) [L]
7	二次エネルギー消費量(他人から供給された熱 蒸気) [MJ/年]
8	二次エネルギー消費量(他人から供給された熱 温水) [MJ/年]
9	二次エネルギー消費量(他人から供給された熱 冷水) [MJ/年]

各データ行は、機器ごとの二次エネルギー消費量を表している。行と機器の対応を表 6 に示す。

表 6 二次エネルギーセクション データ行と対応する機器

行	対応する機器
1	全熱交換器
2	空調ファン
3	二次ポンプ
4	熱源主機
5	熱源補機
6	一次ポンプ
7	冷却塔ファン
8	冷却水ポンプ
9	計

### 3.4 空調負荷セクション

空調負荷セクションは、空調設備全体の各種負荷を表している。空調負荷セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、データ行 2 行から構成される。データ行は、1 行目が冷房負荷、2 行目が暖房負荷を表している。データ行の列の構成を表 7 に示す。

表 7 空調負荷セクション データ行の列構成

列	内容
1	ヘッダ列。冷房か暖房かを表す。
2	空調対象面積あたりの年間空調負荷 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
3	空調対象面積あたりの未処理負荷 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
4	空調対象面積あたりの熱源過負荷 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
5	空調対象面積あたりのピーク負荷 [W/m <sup>2</sup> ]
6	全負荷相当運転時間 [時間]

### 3.5 室負荷セクション

室負荷セクションは、空調ゾーンごとの負荷と基準一次エネルギー消費量を表している。空調負荷セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、空調ゾーン 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 8 に示す。

表 8 室負荷セクション データ行の列構成

列	内容
1	空調ゾーン ID
2	階
3	ゾーン名
4	建物用途
5	室用途
6	室面積 [m <sup>2</sup> ]
7	冷房負荷 [MJ/年]
8	暖房負荷 [MJ/年]
9	基準一次エネルギー消費量 [MJ/年]

### 3.6 空調機群セクション

空調機群セクションは、空調機群ごとの計算結果を表している。空調機群セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 2 行、空調機群 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 9 に示す。



表 9 空調機群セクション データ行の列構成

列	内容
1	空調機群名称
2	空調機タイプ
3	冷房能力 [kW]
4	暖房能力 [kW]
5	給気ファン消費電力 [kW]
6	還気ファン消費電力 [kW]
7	外気ファン消費電力 [kW]
8	排気ファン消費電力 [kW]
9	接続されている空調ゾーン (室負荷処理、セミコロンの区切り)
10	接続されている空調ゾーン (外気負荷処理、セミコロンの区切り)
11~22	冷房 出現時間 [h]。負荷率ごと 0.1 刻み。22 列は合計。
23~33	冷房 消費電力 [kW]。負荷率ごと 0.1 刻み。
34~45	冷房 電力消費量 [MWh]。負荷率ごと 0.1 刻み。45 列は合計。
46~57	暖房 出現時間 [h]。負荷率ごと 0.1 刻み。57 列は合計。
58~68	暖房 消費電力 [kW]。負荷率ごと 0.1 刻み。
69~80	暖房 電力消費量 [MWh]。負荷率ごと 0.1 刻み。80 列は合計。

### 3.7 二次ポンプ群セクション

二次ポンプ群セクションは、二次ポンプ群ごとの計算結果を表している。二次ポンプ群セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 2 行、二次ポンプ群 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 10 に示す。

表 10 二次ポンプ群セクション データ行の列構成

列	内容
1	二次ポンプ群名称
2	ポンプ台数 [台]
3	定格流量 [m <sup>3</sup> /h 台]
4	定格消費電力 [kW/台]
5	流量制御方式
6	台数制御の有無
7	dT=5 としたときの能力 [kW]
8	冷房 空調機接続 (セミコロン区切り)
9~20	冷房 出現時間 [h]。負荷率ごと 0.1 刻み。20 列は合計。
21~31	冷房 ポンプ運転台数 [台]。負荷率ごと 0.1 刻み。
32~42	冷房 消費電力 [kW]。負荷率ごと 0.1 刻み。
43~54	冷房 電力消費量 [MWh]。負荷率ごと 0.1 刻み。54 列は合計。
55	暖房 空調機接続 (セミコロン区切り)
56~67	暖房 出現時間 [h]。負荷率ごと 0.1 刻み。67 列は合計。
68~78	暖房 ポンプ運転台数 [台]。負荷率ごと 0.1 刻み。
79~89	暖房 消費電力 [kW]。負荷率ごと 0.1 刻み。
90~101	暖房 電力消費量 [MWh]。負荷率ごと 0.1 刻み。101 列は合計。

### 3.8 熱源群セクション

熱源群セクションは、熱源群ごとの計算結果を表している。熱源群セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 2 行、熱源群 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 11 に示す。ただし、T<sub>C0</sub>~T<sub>C5</sub> および T<sub>H0</sub>~T<sub>H5</sub> は地域区分によって異なり、それぞれの表 12、表 13 の通りである。

表 11 熱源群セクション データ行の列構成

列	内容
1	熱源群名称
2	蓄熱システム
3	台数制御の有無
4	冷房 接続空調機 (セミコロン区切り)
5~15	冷房 出現時間 [h] (外気温 T <sub>C0</sub> 以下)。負荷率ごと 0.1 刻み。
16~26	冷房 出現時間 [h] (外気温 T <sub>C0</sub> ~T <sub>C1</sub> )。負荷率ごと 0.1 刻み。
27~37	冷房 出現時間 [h] (外気温 T <sub>C1</sub> ~T <sub>C2</sub> )。負荷率ごと 0.1 刻み。
38~48	冷房 出現時間 [h] (外気温 T <sub>C2</sub> ~T <sub>C3</sub> )。負荷率ごと 0.1 刻み。

列	内容
49～59	冷房 出現時間 [h] (外気温 $T_{C3} \sim T_{C4}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
60～70	冷房 出現時間 [h] (外気温 $T_{C4}$ より高い)。負荷率ごと 0.1 刻み。
71～81	冷房 運転台数 [台] (外気温 $T_{C0}$ 以下)。負荷率ごと 0.1 刻み。
82～92	冷房 運転台数 [台] (外気温 $T_{C0} \sim T_{C1}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
93～103	冷房 運転台数 [台] (外気温 $T_{C1} \sim T_{C2}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
104～114	冷房 運転台数 [台] (外気温 $T_{C2} \sim T_{C3}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
115～125	冷房 運転台数 [台] (外気温 $T_{C3} \sim T_{C4}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
126～136	冷房 運転台数 [台] (外気温 $T_{C4}$ より高い)。負荷率ごと 0.1 刻み。
137～147	冷房 熱部分負荷率 [-] (外気温 $T_{C0}$ 以下)。負荷率ごと 0.1 刻み。
148～158	冷房 熱部分負荷率 [-] (外気温 $T_{C0} \sim T_{C1}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
159～169	冷房 熱部分負荷率 [-] (外気温 $T_{C1} \sim T_{C2}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
170～180	冷房 熱部分負荷率 [-] (外気温 $T_{C2} \sim T_{C3}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
181～191	冷房 熱部分負荷率 [-] (外気温 $T_{C3} \sim T_{C4}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
192～202	冷房 熱部分負荷率 [-] (外気温 $T_{C4}$ より高い)。負荷率ごと 0.1 刻み。
203～213	冷房 熱源消費エネルギー [一次 kW] (外気温 $T_{C0}$ 以下)。負荷率ごと 0.1 刻み。
214～224	冷房 熱源消費エネルギー [一次 kW] (外気温 $T_{C0} \sim T_{C1}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
225～235	冷房 熱源消費エネルギー [一次 kW] (外気温 $T_{C1} \sim T_{C2}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
236～246	冷房 熱源消費エネルギー [一次 kW] (外気温 $T_{C2} \sim T_{C3}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
247～257	冷房 熱源消費エネルギー [一次 kW] (外気温 $T_{C3} \sim T_{C4}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
258～268	冷房 熱源消費エネルギー [一次 kW] (外気温 $T_{C4}$ より高い)。負荷率ごと 0.1 刻み。
269～280	冷房 熱源一次エネルギー消費量 [MJ]。負荷率ごと 0.1 刻み。280 列は合計。
281～292	冷房 熱源単体補機 電力消費量 [MWh]。負荷率ごと 0.1 刻み。292 列は合計。
293～304	冷房 熱源単体補機 (比例) 電力消費量 [MWh]。負荷率ごと 0.1 刻み。304 列は合計。
305～316	冷房 一次ポンプ 電力消費量 [MWh]。負荷率ごと 0.1 刻み。316 列は合計。
317～328	冷房 冷却塔ファン 電力消費量 [MWh]。負荷率ごと 0.1 刻み。328 列は合計。

列	内容
	計。
329～340	冷房 冷却水ポンプ 電力消費量 [MWh]。負荷率ごと 0.1 刻み。340 列は合計。
341	暖房 接続空調機 (セミコロン区切り)
342～352	暖房 出現時間 [h] (外気温 $T_{H0}$ 以下)。負荷率ごと 0.1 刻み。
353～363	暖房 出現時間 [h] (外気温 $T_{H0} \sim T_{H1}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
364～374	暖房 出現時間 [h] (外気温 $T_{H1} \sim T_{H2}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
375～385	暖房 出現時間 [h] (外気温 $T_{H2} \sim T_{H3}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
386～396	暖房 出現時間 [h] (外気温 $T_{H3} \sim T_{H4}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
397～407	暖房 出現時間 [h] (外気温 $T_{H4}$ より高い)。負荷率ごと 0.1 刻み。
408～418	暖房 運転台数 [台] (外気温 $T_{H0}$ 以下)。負荷率ごと 0.1 刻み。
419～429	暖房 運転台数 [台] (外気温 $T_{H0} \sim T_{H1}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
430～440	暖房 運転台数 [台] (外気温 $T_{H1} \sim T_{H2}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
441～451	暖房 運転台数 [台] (外気温 $T_{H2} \sim T_{H3}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
452～462	暖房 運転台数 [台] (外気温 $T_{H3} \sim T_{H4}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
463～473	暖房 運転台数 [台] (外気温 $T_{H4}$ より高い)。負荷率ごと 0.1 刻み。
474～484	暖房 熱部分負荷率 [-] (外気温 $T_{H0}$ 以下)。負荷率ごと 0.1 刻み。
485～495	暖房 熱部分負荷率 [-] (外気温 $T_{H0} \sim T_{H1}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
496～506	暖房 熱部分負荷率 [-] (外気温 $T_{H1} \sim T_{H2}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
507～517	暖房 熱部分負荷率 [-] (外気温 $T_{H2} \sim T_{H3}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
518～528	暖房 熱部分負荷率 [-] (外気温 $T_{H3} \sim T_{H4}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
529～539	暖房 熱部分負荷率 [-] (外気温 $T_{H4}$ より高い)。負荷率ごと 0.1 刻み。
540～550	暖房 熱源消費エネルギー [一次 kW] (外気温 $T_{H0}$ 以下)。負荷率ごと 0.1 刻み。
551～561	暖房 熱源消費エネルギー [一次 kW] (外気温 $T_{H0} \sim T_{H1}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
562～572	暖房 熱源消費エネルギー [一次 kW] (外気温 $T_{H1} \sim T_{H2}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
573～583	暖房 熱源消費エネルギー [一次 kW] (外気温 $T_{H2} \sim T_{H3}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
584～594	暖房 熱源消費エネルギー [一次 kW] (外気温 $T_{H3} \sim T_{H4}$ )。負荷率ごと 0.1 刻み。
595～605	暖房 熱源消費エネルギー [一次 kW] (外気温 $T_{H4}$ より高い)。負荷率ごと 0.1 刻み。

列	内容
606～617	暖房 熱源一次エネルギー消費量 [MJ]。負荷率ごと 0.1 刻み。617 列は合計。
618～629	暖房 熱源単体補機 電力消費量 [MWh]。負荷率ごと 0.1 刻み。629 列は合計。
630～641	暖房 熱源単体補機 (比例) 電力消費量 [MWh]。負荷率ごと 0.1 刻み。641 列は合計。
642～653	暖房 一次ポンプ 電力消費量 [MWh]。負荷率ごと 0.1 刻み。653 列は合計。
654～665	暖房 冷却塔ファン 電力消費量 [MWh]。負荷率ごと 0.1 刻み。665 列は合計。
666～677	暖房 冷却水ポンプ 電力消費量 [MWh]。負荷率ごと 0.1 刻み。677 列は合計。

表 12 熱源群セクション 外気温範囲の区切り (冷房)

地域区分	T <sub>C0</sub> [°C]	T <sub>C1</sub> [°C]	T <sub>C2</sub> [°C]	T <sub>C3</sub> [°C]	T <sub>C4</sub> [°C]
1,2	5	10	15	20	25
3,4,5,6,7	10	15	20	25	30
8	10	15	20	25	30

表 13 熱源群セクション 外気温範囲の区切り (暖房)

地域区分	T <sub>H0</sub> [°C]	T <sub>H1</sub> [°C]	T <sub>H2</sub> [°C]	T <sub>H3</sub> [°C]	T <sub>H4</sub> [°C]
1,2	-10	-5	0	5	10
3,4,5,6,7	-5	0	5	10	15
8	10	15	20	25	30

### 3.9 非主要室セクション

非主要室セクションは、主要室入力法における非主要室の一次エネルギー消費量を表している。非主要室セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、非主要室である空調ゾーン 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 14 に示す。

表 14 非主要室セクション データ行の列構成

列	内容
1	階
2	ゾーン名称
3	建物用途
4	室用途
5	室面積 [m <sup>2</sup> ]
6	基準一次エネルギー消費量 [MJ/年]
7	設計一次エネルギー消費量 [MJ/年]
8	エネルギー消費率 [%]

### 3.10 警告セクション

警告セクションは、計算実行時の警告を表している。警告セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、警告 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 15 に示す。

表 15 警告セクション データ行の列構成

列	内容
1	種別（空調ゾーン／外壁構成／窓仕様／外皮／熱源群／二次ポンプ／空調機／その他）
2	警告コード
3	内容
4	行

## 4 換気

換気の CSV は、表 16 のセクションから構成される。

表 16 換気のセクション

セクション名	内容
概要	換気設備全体の設計一次エネルギー消費量、基準一次エネルギー消費量、BEI 等
詳細	換気対象室ごとおよび接続されている機器ごとの計算結果

### 4.1 概要セクション

概要セクションは、換気設備全体の計算結果であり、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、データ行 1 行から構成される。データ行の列の構成を表 17 に示す。

表 17 概要セクション データ行の列構成

列	内容
1	設計一次エネルギー消費量 [MJ/年]
2	換気対象面積あたりの設計一次エネルギー消費量 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
3	基準一次エネルギー消費量 [MJ/年]
4	換気対象面積あたりの基準一次エネルギー消費量 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
5	換気対象面積 [m <sup>2</sup> ]
6	BEI/V

## 4.2 詳細セクション

詳細セクションは、換気対象室ごと計算結果および接続されている機器ごとの計算結果を表している。詳細セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 2 行、室ごとに接続機器数分の行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 18 に示す。ただし、2 列目は室か機器かどちらの情報であるかを表しており、室の情報は各室データの 1 行目にのみ出力される。

表 18 詳細セクション データ行の列構成

列	室 / 機器	内容
1	室	階
2	室	室名称
3	室	建物用途
4	室	室用途
5	室	面積 [m <sup>2</sup> ]
6	機器	換気機器種類 (送風機もしくは空調機)
7	機器	機器名称
8	機器	換気方式 (給気/排気/循環/空調)
9	機器	定格風量 [m <sup>3</sup> /h] (送風機のみ)
10	機器	電動機定格出力 [kW] (送風機のみ)
11	機器	換気対象室の用途 [kW] (空調機のみ)
12	機器	必要冷却能力 [kW] (空調機のみ)
13	機器	熱源効率 [-] (空調機のみ)
14	機器	ポンプ定格出力 [kW] (空調機のみ)
15	機器	送風機の種類 (空調機のみ、給気/排気/循環/空調)
16	機器	設計風量 [m <sup>3</sup> /h] (空調機のみ)
17	機器	電動機出力 [kW] (空調機のみ)
18	機器	単位面積あたりの消費電力 [W/m <sup>2</sup> ]

19	機器	基準設定消費電力 [W/m <sup>2</sup> ]
20	室	高効率電動機の有無 (送風機のみ)
21	機器	インバータの有無 (送風機のみ)
22	機器	送風量制御 (送風機のみ)
23	機器	補正係数 F
24	機器	年間換気運転時間 [h/年]
25	機器	設計一次エネルギー消費量 [MJ/年]
26	機器	基準一次エネルギー消費量 [MJ/年]
27	室	エネルギー消費率 [%]

### 4.3 非主要室セクション

非主要室セクションは、主要室入力法における非主要室の一次エネルギー消費量を表している。非主要室セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、非主要室である換気対象室 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 19 に示す。

表 19 非主要室セクション データ行の列構成

列	内容
1	階
2	室名称
3	建物用途
4	室用途
5	室面積 [m <sup>2</sup> ]
6	基準一次エネルギー消費量 [MJ/年]
7	設計一次エネルギー消費量 [MJ/年]
8	エネルギー消費率 [%]

### 4.4 警告セクション

警告セクションは、計算実行時の警告を表している。警告セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、警告 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 20 に示す。



表 20 警告セクション データ行の列構成

列	内容
1	種別（換気対象室／給排気送風機／換気代替空調機／その他）
2	警告コード
3	内容
4	行

## 5 照明

照明の CSV は、表 21 のセクションから構成される。

表 21 照明のセクション

セクション名	内容
概要	照明設備全体の設計一次エネルギー消費量、基準一次エネルギー消費量、BEI 等
詳細	照明対象室ごとおよび接続されている機器ごとの計算結果

### 5.1 概要セクション

概要セクションは、換気設備全体の計算結果であり、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、データ行 1 行から構成される。データ行の列の構成を表 22 に示す。

表 22 概要セクション データ行の列構成

列	内容
1	設計一次エネルギー消費量 [MJ/年]
2	照明対象面積あたりの設計一次エネルギー消費量 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
3	基準一次エネルギー消費量 [MJ/年]
4	照明対象面積あたりの基準一次エネルギー消費量 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
5	照明対象面積 [m <sup>2</sup> ]
6	BEI/L

### 5.2 詳細セクション

詳細セクションは、換気対象室ごと計算結果および接続されている機器ごとの計算結果を表している。詳細セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 2 行、室ごとに接続機器数分の行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 23 に示す。ただし、2 列目は室か機器かどちらの情報であるかを表しており、室の情報は各室の 1 行目にのみ出力される。

表 23 詳細セクション データ行の列構成

列	室 / 機器	内容
1	室	階
2	室	室名称
3	室	建物用途
4	室	室用途
5	室	面積 [m <sup>2</sup> ]
6	室	天井高 [m]
7	室	室の間口 [m]
8	室	室の奥行 [m]
9	室	室指数 [-]
10	室	室指数補正係数 [-]
11	機器	照明器具型式
12	機器	機器名称
13	機器	消費電力 [W/台]
14	機器	台数 [台]
15	機器	単位面積あたりの消費電力 [W/m <sup>2</sup> ]
16	室	基準設定消費電力 [W/m <sup>2</sup> ]
17	機器	在室検知制御
18	機器	タイムスケジュール制御
19	機器	初期照度補正制御
20	機器	昼光連動調光制御
21	機器	自動点滅制御
22	機器	照度調整調光制御
23	機器	補正係数 F
24	機器	設計一次エネルギー消費量 [MJ/年]
25	室	基準一次エネルギー消費量 [MJ/年]
26	室	エネルギー消費率 [%]

### 5.3 非主要室セクション

非主要室セクションは、主要室入力法における非主要室の一次エネルギー消費量を表している。非主要室セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、非主要室である照明対象室 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 24 に示す。

表 24 非主要室セクション データ行の列構成

列	内容
1	階
2	室名称
3	建物用途
4	室用途
5	室面積 [m <sup>2</sup> ]
6	基準一次エネルギー消費量 [MJ/年]
7	設計一次エネルギー消費量 [MJ/年]
8	エネルギー消費率 [%]

#### 5.4 警告セクション

警告セクションは、計算実行時の警告を表している。警告セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、警告 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 25 に示す。

表 25 警告セクション データ行の列構成

列	内容
1	種別（照明／その他）
2	警告コード
3	内容
4	行

## 6 給湯

給湯の CSV は、表 26 のセクションから構成される。

表 26 給湯のセクション

セクション名	内容
概要	給湯設備全体の設計一次エネルギー消費量、基準一次エネルギー消費量、BEI 等
室詳細	給湯対象室ごとの計算結果
機器詳細	給湯機器ごとの計算結果
非主要室	非主要室の計算結果

#### 6.1 概要セクション

概要セクションは、換気設備全体の計算結果であり、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、

データ行 1 行から構成される。データ行の列の構成を表 27 に示す。

表 27 概要セクション データ行の列構成

列	内容
1	設計一次エネルギー消費量 [MJ/年]
2	給湯対象面積あたりの設計一次エネルギー消費量 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
3	基準一次エネルギー消費量 [MJ/年]
4	給湯対象面積あたりの基準一次エネルギー消費量 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
5	給湯対象面積 [m <sup>2</sup> ]
6	BEI/HW

## 6.2 室詳細セクション

室詳細セクションは、給湯対象室ごとの計算結果を表している。室詳細セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、給湯対象室 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 28 に示す。

表 28 室詳細セクション データ行の列構成

列	内容
1	階
2	室名称
3	建物用途
4	室用途
5	室面積 [m <sup>2</sup> ]
6	節湯器具採否
7	接続機器 (セミコロン区切り)
8	基準一次エネルギー消費量 [MJ/年]

## 6.3 機器詳細セクション

機器詳細セクションは、給湯機器ごとの計算結果を表している。機器詳細セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 2 行、給湯機器 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 29 に示す。

表 29 機器詳細セクション データ行の列構成

列	内容
1	給湯機器名称
2	定格加熱能力 [kW]
3	熱源効率 [-]
4	配管保温仕様

5	接続口径 [mm]
6	有効集熱面積 [m <sup>2</sup> ]
7	集熱面の方位角 [° ]
8	集熱面の傾斜角 [° ]
9	給湯負荷 [MJ/年]
10	配管熱損失 [MJ/年]
11	設計一次エネルギー消費量 [MJ/年]
12	基準一次エネルギー消費量 [MJ/年]
13	エネルギー消費率 [%]
14	備考

#### 6.4 非主要室セクション

非主要室セクションは、主要室入力法における非主要室の一次エネルギー消費量を表している。非主要室セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、非主要室である給湯対象室 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 30 に示す。

表 30 非主要室セクション データ行の列構成

列	内容
1	階
2	室名称
3	建物用途
4	室用途
5	室面積 [m <sup>2</sup> ]
6	基準一次エネルギー消費量 [MJ/年]
7	設計一次エネルギー消費量 [MJ/年]
8	エネルギー消費率 [%]

#### 6.5 警告セクション

警告セクションは、計算実行時の警告を表している。警告セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、警告 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 31 に示す。

表 31 警告セクション データ行の列構成

列	内容
1	種別（給湯対象室／給湯機器／その他）
2	警告コード
3	内容
4	行

## 7 昇降機

昇降機の CSV は、表 32 のセクションから構成される。

表 32 昇降機のセクション

セクション名	内容
概要	昇降機設備全体の設計一次エネルギー消費量、基準一次エネルギー消費量、BEI 等
詳細	昇降機ごとの計算結果

### 7.1 概要セクション

概要セクションは、昇降機設備全体の計算結果であり、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、データ行 1 行から構成される。データ行の列の構成を表 27 に示す。

表 33 概要セクション データ行の列構成

列	内容
1	設計一次エネルギー消費量 [MJ/年]
2	基準一次エネルギー消費量 [MJ/年]
3	BEI/EV

### 7.2 詳細セクション

詳細セクションは、昇降機ごとの計算結果を表している。詳細セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 2 行、昇降機 1 種類あたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 34 に示す。

表 34 詳細セクション データ行の列構成

列	内容
1	名称
2	台数 [台]
3	積載量 [kg]
4	速度 [m/min]
5	速度制御方式
6	補正係数 F
7	主要な対象室の階
8	主要な対象室の室名
9	主要な対象室の建物用途
10	主要な対象室の室用途
11	年間昇降機運転時間 [h/年]
12	設計一次エネルギー消費量 [MJ/年]
13	基準一次エネルギー消費量 [MJ/年]
14	エネルギー消費率 [%]

### 7.3 警告セクション

警告セクションは、計算実行時の警告を表している。警告セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、警告 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 35 に示す。

表 35 警告セクション データ行の列構成

列	内容
1	種別 (昇降機)
2	警告コード
3	内容
4	行

## 8 効率化設備

効率化設備の CSV は、表 36 のセクションから構成される。

表 36 効率化設備のセクション

セクション名	内容
概要	効率化設備全体の創エネルギー量
太陽光発電システム	太陽光発電システムごとの計算結果
コージェネレーションシステム	コージェネレーションシステムごとおよび機器ごとの計算結果

### 8.1 概要セクション

概要セクションは、効率化設備全体の計算結果であり、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、データ行 1 行から構成される。データ行の列の構成をに示す。

列	内容
1	創エネルギー量 [MJ/年]

### 8.2 太陽光発電システムセクション

太陽光発電システムセクションは、太陽光発電システムごとの計算結果を表している。太陽光発電システムセクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 2 行、太陽光発電システム 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 37 に示す。

表 37 太陽光発電システムセクション データ行の列構成

列	内容
1	システム名称
2	太陽光電池の種類
3	アレイ設置方式
4	アレイのシステム容量 [kW]
5	パネルの方位角 [°]
6	パネルの傾斜角 [°]
7	備考
8	創エネルギー量 [MJ/年]

### 8.3 コージェネレーションシステムセクション

コージェネレーションシステムセクションは、コージェネレーションシステムごとおよび機器ごとの計算結果を表している。コージェネレーションシステムセクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 2 行、システムごとに機器数分の行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 38 に示す。ただし、2 列目はシステムか機器かどちらの情報であるかを表しており、システムの情報は各システムの 1 行目にのみ出力される。



表 38 コージェネレーションシステムセクション データ行の列構成

列	システム / 機器	内容
1	システム	システム名称
2	システム	年間電力需要 空調 [MWh]
3	システム	年間電力需要 換気 [MWh]
4	システム	年間電力需要 照明 [MWh]
5	システム	年間電力需要 給湯 [MWh]
6	システム	年間電力需要 昇降機 [MWh]
7	システム	年間電力需要 その他 [MWh]
8	機器	機器名称
9	機器	発電効率 [-]
10	機器	排熱回収率 [-]
11	機器	発電依存率 [-]
12	機器	有効熱利用率 [-]
13	機器	有効排熱量の冷熱利用比 [-]
14	機器	温水吸収冷凍機または排熱投入型冷温水機の成績係数 [-]
15	機器	創エネルギー量 [MJ/年]
16	機器	備考

#### 8.4 警告セクション

警告セクションは、計算実行時の警告を表している。警告セクションは、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、警告 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 39 に示す。

表 39 警告セクション データ行の列構成

列	内容
1	種別 (太陽光発電/コージェネレーション)
2	警告コード
3	内容
4	行

## 9 PAL\*

PAL\*の CSV は、表 40 のセクションから構成される。

表 40 PAL\*のセクション

セクション名	内容
概要	建物全体の PAL*設計値、基準値等
基準値計算過程	基準値の計算過程
設計値計算過程	設計値の計算過程

### 9.1 概要セクション

概要セクションは、PAL\*全体の計算結果であり、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、データ行 1 行から構成される。データ行の列の構成を表 41 に示す。

表 41 概要セクション データ行の列構成

列	内容
1	設計値 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
2	基準値 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
3	冷房負荷 [MJ/年]
4	暖房負荷 [MJ/年]

### 9.2 基準値計算過程セクション

基準値計算過程セクションは、建物用途ごとの基準値の計算結果であり、タイトル行 1 行、ヘッダ行 1 行、建物用途 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 42 に示す。

表 42 基準値計算過程セクション データ行の列構成

列	内容
1	建物用途
2	基準値 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
3	ペリメータ面積 [m <sup>2</sup> ]

### 9.3 設計値計算過程セクション

設計値計算過程セクションは、室ごとの設計値の計算過程であり、タイトル行 1 行、ヘッダ行 2 行、室 1 つあたり 1 行のデータ行から構成される。データ行の列の構成を表 43 に示す。

表 43 設計値計算過程セクション データ行の列構成

列	内容
1	室名称
2	冷房負荷 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
3	暖房負荷 [MJ/m <sup>2</sup> 年]

4	空調負荷合計 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
5	ペリメータ面積 [m <sup>2</sup> ]
6	設計値 [MJ/m <sup>2</sup> 年]
7	基準値 [MJ/m <sup>2</sup> 年]